言葉3 さまざまな表現技法（2）

さまざまな表現

●**体言止め**…文末や句末を体言（名詞）で止める。

（効果）引き締まった印象を与えたり、余韻を残したりする。

・なんと美しい景色。（体言）

・柿くへば鐘が鳴るなり法隆寺（体言）（正岡子規）

●**倒置**…普通の言葉の並べ方から、語順を入れ替える。

（効果）主に後に置かれた言葉が強調される。

・どこまでも行こう。　（普通の語順）

・行こう、どこまでも。　（倒置）

●**対句**…言葉を、形や意味が対応するように並べる。

（効果）言葉にリズムが生まれる。

・兎追いし　かの山　小鮒釣りし　かの川（対句）（高野辰之「故郷」）

●**反復**…同じ言葉を繰り返す。

（効果）言葉にリズムが生まれ、内容が強調される。

・桜が散る。どんどん散る。吹雪のように散る。

●**省略**…文章を途中で止め、後の言葉を省く。

（効果）読み手に省略した部分を自由に想像させる余地を残す。

・「またいつか。」彼女はそう言い残し去っていった。

確認テスト

(1) 次の①〜③の各文で使われている表現技法として適当なものを、それぞれ選びなさい。

① 青い空が広がり、白い雲が流れる。
② 鳥の声が聞こえる、どこか遠くで。
③ 庭に美しく咲いた一輪の花。

ア 体言止め　**イ** 倒置　**ウ** 対句

①〔　　〕　②〔　　〕　③〔　　〕

(2) 次の①〜⑥の各文で使われている表現技法として適当なものを、それぞれ選びなさい。ただし同じ記号を何度使ってもよい。

① かすかに聞こえる波の音。
② 川が流れる、ゆっくりと。
③ 風に舞っているよ、桜の花びらが。
④ どこまでも続くまっすぐな道。
⑤ 歩いても、歩いても、たどり着かない。
⑥ 雨は地面をたたき、風は木々をゆらす。

ア 体言止め　**イ** 倒置　**ウ** 対句　**エ** 反復

①〔　　〕　②〔　　〕　③〔　　〕
④〔　　〕　⑤〔　　〕　⑥〔　　〕

(3) 次の各文の表現技法として最も適当なものを、それぞれ選びなさい。

① 同じ言葉を繰り返して、内容を強調し、リズムを生む。
② 言葉を途中で止めて後を省き、読み手に想像させる。
③ 普通の言葉の並べ方から、語順を入れ替える。
④ 言葉を形や意味が対応するように対に並べる。

ア 倒置　**イ** 対句　**ウ** 反復　**エ** 省略

①〔　　〕　②〔　　〕　③〔　　〕　④〔　　〕